

## 1.1 政府（データ使用者）のプログラム

浚渫土砂評価の際に生じたデータは規制を目的として利用されるため、適切な品質保証の監視を行うことが重要である。USACE は、適切な EPA の部署と共同で、品質保証プログラムを実行し、浚渫土砂評価におけるすべてのプログラム要素と検査の活動（現地調査および研究機関での業務を含む）が、品質保証プロジェクト計画、あるいは周知の品質を持つ環境データの作成に関するほかの特定のガイドラインの手順に従っていることを保証しなければならない。本品質保証ガイダンス文書は EPA および USACE 両方からのプログラムの、科学的な専門的意見の支援により作成されたものである。必要に応じて、他の適格な情報元による品質保証プログラム管理を参照する。受託試験機関の選択における適切な品質保証の判断については、Sturgis (1990) および U.S.EPA (1991d) により検討されている。

この文書におけるガイダンスは EPA および USACE の浚渫土砂管理者が以下の点を保証するような品質保証事業計画の作成を支援することを目的としている。

- 1) 浚渫土砂の許可申請と共に提出されたデータが、浚渫や処理が生じた場合の決定に対し高品質、十分かつ適切であること
- 2) 受託試験機関が浚渫土砂評価を支配するような法規やガイドラインの品質管理仕様に従っていること

これは適切な品質保証管理計画の作成を含む。